# 今月の言葉・・・2022年4月30日

## 『想いを形にする為に』

若い頃、海外旅行が趣味だという方のお話を聞きながら、『いいなア。私も行ってみたい!』と言ったところ、『行ってみたいと言っている限り、多分あなたは行かないね。大体の人は〇〇したいとかできたらいいなって言うんだけど、ホントにしたい事、行きたい所があったら、いつどこに行くのかを自分で決めているんだよね』と応えたのです。

今でこそ、その言葉の意味もよく理解できますが、当時 20 歳の世間知らずな私はその大切な言葉を聞き流していました。そして、本当に趣味で海外旅行には行きませんでした(笑)

仕事上の目標も、プライベートの充実も、本気で、強気で思っているのか、少し魅力的な情報や 周囲の空気に誘導されて出た思いつきなのか?自分に問いかけるところから始めないと実現は 出来ないでしょう。

自問自答を繰り返し、本当に目指す事を決めたのであれば、実現の日にちを設定し、その日から 逆算しながら今日、明日、誰と何をするかを決めて行動に移してゴールを目指します。

先日、YouTube の配信者が『生配信の入場者を伸ばしたい。今 63 名だから少なくとも 100 を目指したいんだよね』とお話されたところ、『頑張って下さいね』『祈っています』『応援しています』などなど温かいメッセージが連なりました。

私は、祈りで視聴者の数が増えるならみんな祈っているだろうなアと思いながら、『ここにいる 63 名が次の時に一人づつお友達を招待したら 120 名になりますね』とコメントしました。

すると、『ナイスアイデア!』『そうですよね!』と何人かの方が良い反応をして下さいました。

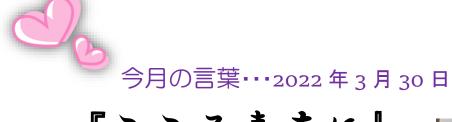
祈りや励ましはモチベーションに繋がりますし、本当に有難い事です。でも実際に 100 名を達成してお祝いを現実化したいのなら、自分が動ける事をする、人に動いて貰う為の一声を発する方が早道で確実です。やりたい事、実現したい事は言葉にして表沙汰にするところから始まります。

一方、どうしても手に入れたいが為に何かを手放さないといけないモノやコトがあります。

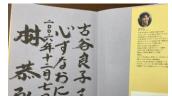
その判断、選択によって本当の宝物を手に入れられるかも知れませんし、逆に手から滑り落ちて しまうかも知れません。

想いの強さを周りに伝える、そしてその為の言動を伝える。だから応援者が増えていくのだと思います。大成しているスポーツ選手たちはほぼ『有言』し『実行』しています。

『ずっと想ってきたんだけど・・・』と挫折の時に初めて言われて『早く言ってよ~~!』と思う事もありました。想いが想いのままで消え去ってしまわない為に、今の自分は何がしたいのか?その為に何が出来るのか?それをいつでも問いかけていきたいと思っています。



## 『こころ素直に』



【林 泰弘氏より頂いた言葉】

2006年・・・・もしかしたら、次の社長になるかも知れないと思いながら 仕事をしていた頃、私はいつも悩んでいました。何に悩んでいたかと言うと、 とにかく全てに対して答えが出ない毎日でだったのです。

私を助ける為に来て貰ったはずの助っ人役が一月二月経つ頃に「古谷専務はもはや四面楚歌状態です。 次の社長は私にして下さい」と自作自演で当時の社長に自分を売り込みにいったのです。その根回しに使っ たのが社員との独特のコミュニケーション。私が留守の間に持論を吹き込んでは、理想の会社像を描かせ、 長く居座る私の存在を『悪』だと静かに静かに言い聞かせ、反古谷派を増やすつもりだったようです。

当時の社長は笑いながらその事を私に伝えて下さり取り合わなかった為、その後もなかなか欲しい状態にな らないその人は色々な事を仕掛けて来ました。さすがの私も相当参ってしまい、みるみるうちに痩せたらしいの です。当時の事を知っている人が『毎日やせていったので心配だった』と後年話してくれました。

偶然に外で出会った友人には『どうしたの?それ以上痩せない方がイイよ』と声をかけてくれました。

毎日が精一杯だったので、体重の事や顔つきを気にする余裕がありませんでしたが、今思うと相当なストレス だったのだと思います。そんな時に何とか自分らしい自分に戻る為に学び始めたのが心理学でした。

何故、他人の言動で自分が悩まされ、痛みを感じるのか?そこから脱却する為にはどうしたら良いのか? どうしても今の状況を変える為に答えを求めて、仕事帰りに数か月通ったでしょうか。

その時に講師を務めて下さったお一人が林先生でした。先生の著書『落ち込みグセをなおす方法』を購入し た際に、私の顔を数秒見つめた後に書いて下さったのが『心すなおに』でした。私の前後の購入者は一人ひ とり違う言葉を頂いていました。自分では素直に生きているつもりでも、先生にはそう見えなくて、素直という言 葉を下さったのだと思いましたが、その時はその言葉を素直に受け止められなかった事を思い出します。

林先生の他にメインで講義を行って下さった先生方のお陰様で、一連の講義を終えた頃には、社内の環境 も大き〈変わっていました。四面楚歌と私を例えた人こそが四面楚歌になり、居場所も持論に賛同する人も 無くし早々の退職に至りました。私が何かを仕掛けた訳でもないのに、自滅していきました。

あの時、たった数か月だけ私の目の前に現れ、静かなる嵐を起していった人・・・・。今でこそその人が現れた お陰で自分という存在が浮き彫りにされ、その結果良い師に出会い、心が丈夫になり、考え方の工夫が身 に付くようになったと振り返る事が出来ます。

人には色々な役割がある事も学びました。その当時の私は、大きな苦悩や痛みを伴わないと何かを学べな かったのだと思います。良いところも、不出来な部分もひっくるめて素直に認め、どう在りたいのかを描けること 事が幸せを掴むコツだと教えて頂きました。きつい時には無理して完璧を求めない事。台所の洗い物も全部 片付けなくてもイイ。カップだけ洗ってもイイ。心が動けば行動がついてくる。逆に少しの行動が心を緩め肯定的 な感情を作り出す事も学びました。自分の心は自分で創っていくもの。愛され上手=素直さだと思います



# 今月の言葉・・・2022 年 2 月 28 日

## 戦争がもたらすもの

### 「死んだ男の残したものは」 谷川俊太郎作詞・武満徹作曲

- 1) 死んだ男の残したものは、ひとりの妻とひとりの子ども 他には何も残さなかった、墓石ひとつ残さなかった
- 2) 死んだ女の残したものは、しおれた花とひとりの子ども 他には何も残さなかった、着もの一枚残さなかった
- 3) 死んだ子どもの残したものは、ねじれた脚と乾いた涙 他には何も残さなかった、思い出ひとつ残さなかった
- 4) 死んだ兵士の残したものは、こわれた銃とゆがんだ地球 他には何も残せなかった、平和ひとつ残せなかった
- 5) 死んだかれらの残したものは、生きてるわたし生きてるあなた 他には誰も残っていない、他には誰も残っていない
- 6) 死んだ歴史の残したものは、輝く今日とまた来るあした 他には何も残っていない、他には何も残っていない

私がこの曲と出会ったのは、10年以上前に森山良子さんのアルバムを手に取った時でした。 森山さんの透き通った美しい声に反して、詞が辛辣だったギャップに驚きました。

また『ザワワ・ザワワ・ザワワ』で有名な『さとうきび畑』という曲も"父親が鉄の雨にうたれて死んでいった" "風に涙は乾いても、この悲しみは消えない"という歌詞があり明らかに戦争がもたらす不幸を歌っているもので静かなる反戦歌という受け止め方をされています。(少なくとも私はその様に解釈してします) この度の一人のリーダーが下した不幸な決断により、多くの命が失われ続けています。小さな命もです。 谷川俊太郎さんは作詞に限らず詩集や童話・絵本など数えきれないほどの言葉を世に生み出してきた 方です。童話には『もりのくまとテディベア』『ガチャピンとムックのものがたり』『おならうた』『ぴよぴよ』など微 笑ましいタイトルが多いのですが、中には『せんそうごっこ』『せんそうしない』など直接『せんそう』という言葉 を用いて平和を伝える作品もあります。言葉を手段として、誰かが誰かに戦争の悲惨さ、愚かさを伝え続 けていくる事が武器を持たずにできる反戦活動だと思います。



# 今月の言葉・・・2022年1月26日

## 『ほどほどの効用』

### 曽野綾子氏の安心録「ほどほど」の効用より

『人間は、どこでも、生きている限り、他人から文句を言われると、つべこべ自己弁護をするようになっているのだろう。時には見え透いた嘘をついて自分の責任を逃れようとする。嘘はその瞬間の厳しさを逃れるためだし、さぼるのは何とか息切れせずに生涯を終えるためである。その卑怯さを自分にも他人にも許さないと、最終的に生きてはいけない。「ほどほど」とはそれがかなりうまくいった場合の、むしろ褒め言葉だと思う。卑怯さも、バランス感覚も、諦めも、思い上がりも、謙虚さも、すべて中庸を得ていないと、「ほどほど」にはならない。』

この一文の中で、一番気に入っている箇所は、《さぼるのは何とか息切れせずに生涯を終えるためである。》の部分です。仕事ではそうそうサボる訳にはいきませんが、日常生活では用事を明日へ繰り越す、意図的に片づけをしない事があります。そんな時、自分は自堕落な人間だと悲観したり、時間があったのに、何もしなかったと自己嫌悪に陥った時期もありました。

しかし、加齢現象による身体の不具合や、精神的な疲労感を癒すのには、ボーっとした時間がどうしても不可欠だと感じる様になってからは、サボリの時間を『癒しの時間』と置き換える事にしました。

次に気になるフレーズは、《「ほどほど」とはそれがかなりうまくいった場合の、むしろ褒め言葉だと思う。 卑怯さも、バランス感覚も、諦めも、思老い上がりも、謙虚さも、すべて中庸を得ていないと、「ほどほど」にはならない。》の部分です。

中庸とは、"どちらにも片寄らないで常に変わらないこと。過不足がなく調和がとれていること"ですが、 健康状態や思考、態度すべてに言える事で、理想的なあり方です。

自己本位な「ほどほど」ではなく、上手くいく「ほどほど」には中庸感が必要だと言う事。 とても良く解ります。

中庸を超えると、飛び出た行為になるので、目立ちます。嘘だと分かっていても聞き流せる場合はそれでよし。責任から逃れ、自分を守る為の嘘が高じて、結局破滅する人を何人も見てきました。 思い上がりも「ほどほど」なら可愛げがありますが、度を超すと信用ならなくなります。

諦める事を否定的な事として捉えると、絶望的になります。曽野さんは、ご自身の人生を振り返りながら、上手くいく「ほどほど」の加減を色々なエピソードを用いながら伝えて下さっています。

中庸の有り方は、人それぞれだと思います。環境にも影響されるでしょう。この場に於いて何が中庸であり「ほどほど」なのかを感じられる事、それが生き辛いこの世の中で過ごすコツなのだと思います。



# **ゅ** 今月の言葉・・・2021年12月28日

## 日頃の頭のトレーニングにもなる 『三省のすすめ』

渋沢栄一論語の読み方より

今年の大河ドラマもいよいよ最終回を迎えました。

渋沢栄一氏の人となりを丁寧に描き、いくつもの大事業を成しとげた偉大な先人の物語でした。 そこで改めて『論語のすすめ』や『論語とそろばん』に書かれている文章を読んでみると、ドラマで描かれていた場面と重なり合い、理解の後押しになってくれている様に感じます。

さて、『三省のすすめ』とは曾子が修行中の自分に唱えた言葉です。

簡潔に言うと、<u>自分自身の行動を、毎日俯瞰して観察し、忠実でなかった事や信頼に応えなかった</u> 事、復習しなかった事があれば、必ず反省して矯正に努めた。 と言う事です。

『三省』観察のポイントはその名の通り3つ。

- ①人のために物事を考えて自分の努力に不足な点がなかったか?
- ②友人と交際して自分の言動に不誠実な点はなかったか?
- ③ 師から学んだ事を放っておき、復習しなかった事はなかったか?

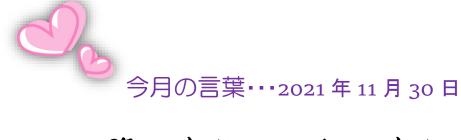
この3つのポイントは令和になっても全く色あせず、人としての信愛を得る為の行動だと感じます。

『反省だけなら猿でもできる』というコマーシャルが昭和の時代にありました。

ただ何を持って反省するかが大事なのです。凡人である私は何かにつけて"出来ない自分"を反省する傾向があります。しかし、ここで学ぶべきは、自分に矢印を向けるのではなく、周囲の人々に信義を尽くした一日であったかを振り返り、人様にとって善い行いをしたかどうかを毎日省察することにより、3つのポイントを押さえた行いを身につける事ができ、自利より利他に重きを置く言動が習慣になっていくということなのです。これは先月のテーマであった『誰の為、何の為』に共通しています。

自利を優先して利他に繋がる事は少ないと思います。逆に利他を優先することが身についている人には、他の人が自分の事を思う行動を起こして下さり、結果、回りまわって自分が満たされている事に気付くのだと思います。その行為はヒロ薬品が掲げる「4つのK」に通じます。

物事を肯定的にとらえ、肯定的な表現をする。そのことが効率的な業務に繋がり効果を呼び、誰もが心地よく過ごせる。口は脳の出店で言葉は脳からの出前です。肯定的な言葉選びをするのは、良好な人間関係を保つための基本だと思います。自分で描いた肯定的な言葉を発語し、その音を一番近くで聴くのも自分自身です。その一言が人の役に立ち、喜ぶ言葉なのか?この事を考える習慣を持つためにも3つのポイントを持って一日を振り返るのはとても大事な事だと思います。



### 誰のために、何のために

ジャズピアニスト:保坂修平氏の言葉

昨年の年明けから新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、『医療崩壊』という怖い言葉が 毎日の様に飛び交い、残念ながら多くの犠牲者が出る事となりました。

外出制限が続き、ゆっくりした買い物や外食は勿論、スポーツ観戦も、音楽鑑賞にも足を運べない 期間が随分長く続きました。飲食業の皆さんのご苦労は連日報道で見聞きしていました。その他にも 関連するお仕事の方々は生き抜く為に必死でした。

様々な職業の方々が職を失う中『音楽家』の皆様方も相当にご苦労をなさったと伺っています。 コンサートは全て中止となり、演奏者は収入の道を閉ざされ、ライブやコンサート会場の運営も、チケ ット販売の会社も苦境に立たされたのです。音楽ファンは会場での臨場感あふれる演奏を聴く楽し みが途絶えました。しかし、何とかして自分たちの音楽を届けたい!という一念から集合するコンサー トから一人ひとりへ届ける『配信』という方法で生きる道を見つけたのです。

これなら携帯一台で遠方でも外国でも聴くことができます!そして配信ライブでは、音楽を聴くばかり ではなく、世界的に有名な指揮者や演奏家の普段の姿、普通の会話がカメラ越しに身近に感じる 事が出来、それが新しい魅力として浸透するようになりました。Web 上でコメントを送る事でアーティスト 達の会話に加わることができ、お返事を頂くのは、ラジオにハガキを送って読まれた時の喜びに似て います。 そんな体験ができるようになったのは、皮肉にも長引く感染拡大のお陰だったのかも知れま せん。ちょうど、配信ライブを通してお近づきになったジャズピアニストの保坂さんは、『ジャズ piano アレン ジ講座』の中でアレンジは『誰の為に』『何の為に』を考えるのが基本だとお話していました。

この言葉を聞いた時『同じ考え!!!』と小躍りしたくなりました。音楽も医療も介護も飲食も、仕事 の全ての基本です。保坂さんはコンサートが出来ない期間、世の中の人達はどんな音楽を聴きたい のか?どんなコンサートなら行きたいと思うか?などファンの立場に立って音楽を作り次々と精力的 に YouTube にアップしました。ファンとのやり取りの中で浮かんだアイデアを作品に仕上げ、仕事の世 界が広がりました。その評価は再生回数に表れています。仕事は『やった』か『やらなかった』のどちら かです。音楽活動の制限をコロナのせいにしてはこの様な結果は生まれませんでした。 方法が異なっても、今日出会うお客様の雰囲気、会話の様子を見ながら、曲目を選び、リクエスト に応える。歌い手が最も輝くアレンジを探して後方支援をする。それが『誰のため、何ため』という保坂 さんの基本に沿った姿なのです。 原曲の良さを活かしつつジャズバージョンにした『川の流れの様に』 は歌謡曲を知らない人、原曲を知っている人、皆が感動する様なアレンジでした。

仕事をしたくてもさせてもらえない時期が長く続いたからこそ、本当に自分の音楽を愛してくれる音を 作りたい、自分の piano を好きになってくれる本物のファンを増やしたいという真摯な想いにかられたの だと思います。仕事は異なれど、自分が提供した先に感動を生み出す事ができれば本望です。



# 今月の言葉・・・2021年 10月 25日

### 今出来ること、 今手元にあるもので

わたしもそうですが、とかく人は無い物ねだりと言い訳が得意です。

半面、言い訳を一切せず、黙々と潔〈分の出来る事に取り組んでいる素敵な人も沢山います。 その様な人の行動を良くみていると、色々な工夫をしている事に気付きます。

また時間の使い方がとても上手ですし、常に頭の血流を巡らせている様な気がします。

そして、『こうしてみましょうか?』という提案に柔軟に応じてくれるので、仕事のはかどりも良く、更にもっと良いアイデアが飛び出てくることがあり、会話と仕事の満足感が高まります。

その様な成功体験を積む癖をつけている人は好循環を自ら作る事が出来ます。たまたま行き詰ったとしても、『今出来る事はなに?今手元にあるもので解決する為には何をする?』というとてもシンプルな所に戻れます。

今、手元にあるもの・・・・。それは自分自身の意識と行動以外の何物でもありません。 これは何時でもどこにでもついてきてくれる有難いものです。

一報で出来ない理由をアレコレ並べだすと際限がありません。

モノが揃っていない・・・・人が足りない・・・・時間が無い・・・・お金が無い・・・・etc. 全ては目的意識の差ではないかと思います。

目的さえきちんと捉えていれば、モノが無くても何らかの代替策を高じようとするのではないでしょうか? 人の手が足りない時には、いつもより効率的に動く工夫をするものです。時間も同じです。

人間の最も秀でているところは知恵が働き、それを駆使できるところです。

無いモノに焦点を当てるより、目の前にあるモノや今ある環境のなかで何が出来るかを考える。 この工夫を繰り返してこそ、人は成長するのではないでしょうか?

何かをやり遂げる為に、今自分がすべき事、それを達成する為にどんな方法、道具を使うと手に入れられるのか?新たな道具を求める前に、自分自身の中に眠っている可能性や身を置く環境から得られるメリットに目を向けて、成すべき事を成す。

ヒロ薬品の人達には、色々な方々に助けられている事を忘れず、自分自身が頼られる存在になって欲しいと思います。そして『今直ぐに取り掛かれる事を探せる名人』を目指して欲しいと思います。

古谷良子



# 今月の言葉・・・2021年9月24日

# しっぷうけいそうしる疾風に勁草を知る

### 【強い風が吹いた時に本当の強い革が解かる】

社会生活を営む毎日の中で、辛い場面を体験することは誰にもある事だと思います。 辛さは個人個人の主観でしか測れません。故に辛い場面から脱却する方法やそれに要する 時間は個人差があって当然です。

難儀な事が起こると、また苦手な事に直面すると、誰でも風よけしたくなります。

ただ、一時的に風よけをしても難儀は去ってくれません。面倒な事を誰かが片付けてくれたら、片付けをしてくれた人が体験を積み、特を積むのであって、風よけに逃げた人はそのチャンスを逃します。

辛いなアと感じた時こそ、自分の足元の踏ん張りを確認し、弱っていたら補強し、栄養不 足を感じたら良い水と、消化に良い食事を摂り、体力をつけるのです。

一時しのぎをした人には、改めて姿を変えてその場面がやってくると言われています。

姿を変えるので、一見違う難儀が次々襲ってくるように感じるかも知れません。

しかし、それは気づきのヒントであって、その時にちゃんと自分と内省して足元を見る癖 をつけると、原因がはっきり見えて来て対応ができるのです。学べるはずなのです。

人の性格、根性というのはなかなか上手く変える事は出来ません。私も同じです。ですから自分の目の前に起こっている難儀な事にしっかり目を向け、どう対処していくかを真剣に考えます。土の改良をしたと思っても、バランスが悪いと根の成長が止まります。 水はけが悪いと根腐れが起こって、回復が難しくなります。

その代わり、程よい土壌にのびのびと自分の良い根を這わせる為に、出来る事を毎日の中で探し、それを行いに変えていく頃が大事だと思って小さな約束を守るようにしてます。 根腐れ現象は組織の在り方にも通じる事を良く例に示されます。

ネジの緩みという表現も同様です。緩んでいるネジを見つけても、まだ何とか回っているからもう少し様子を見よう…など呑気な事を言ってネジの締め忘れを放置していると、ある日突然組織の輪が脱輪し大事故になります。

突然の強風が吹いたとしても、たやすくへこたれない強い根っこを作り、少し緩んだと感じるネジに気を留めて、その時々に適度に締めておくことが柔軟で健やかな組織作りが出来ます。また真(芯)の強い人間として成長する為に必要なことなのだと思います。

強くなる過程を何度も重ねている人こそが、真のやさしさを提供し、辛い人に寄り添う事 が出来るのだと思います。



# 今月の言葉・・・2021 年8月 25日

### 発信の良し悪しは『心』しだい

渋沢栄一氏「論語と算盤」より

7月 21 日に書いた通り、個別に手渡す方法を改め、今月からは HP 上に掲載する事にしました。 今までは、社員の皆さんに読んで頂く為にだけ書き続けてきましたが、これからは不特定多数? 不特定少数? いずれにしてもどなたが目を通して下さるか、全く解りません。

それでも、このシリーズを残すのは自分自身への挑戦の一つでもあります。

何かを発信すると言う事はそこに責任が生じます。また先月述べたように勉強を続ける必要があります。自分の経験や知識だけではすぐに枯渇してしまいます。

しかし、いざ読み手が定まらない状況で書き始めると、ブログとの違いをどうするか?という課題に直面します。ブログは 2007 年 5 月に始め 14 年を過ぎましたが、その日に感じた事、体験した事からヒントを得ながら書き記してきました。

『今月の言葉』ではそのタイトルの通り、魅力的な言葉、意味深い言葉、大事にしていきたい言葉に 焦点を当てて、その由来や意味をどう活かしたいか?などを書いてみたいと思います。

『古谷、新たな発信への挑戦』・・・昨今、自身の想いを発信するツールが沢山あり、その効果や影響力が話題になっています。個人名が特定されない場合は、ネガティブな言葉が増えやすい分少し怖いと思います。 わたくしの場合はどこの誰という事が明確な状態で発信するので、『自由に書くのにもほどほどに』 というブレーキがかかります。ブレーキが利くのは実は有難い事です。

調子に乗って一言多いと、それが足かせになるという事を色々な場面で学んで来ました。

渋沢栄一氏の『論語と算盤』の中に『口舌は実に禍のおこる門でもあるが、また福祉の生ずる門でもある』と記されています。福祉の〈る為には多弁はあえて悪いとは言わないが、禍のおこる所に向かっては言語を慎まないといけない。と諭しています。福祉の〈るところとは、誰かの役に立つ為に口利きをする、誰かを紹介する、助言をしてあげるなどの考え、行為だと思います。

一方、相応しくない場所で心無い言葉を口にしたら『大炎上』に繋がると言う事です。

ロの利き方、文章の発信も中庸が良い様です。しかし、どの辺が中庸なのかを判断するのには人間観察が必要だと思います。そして沢山経験を積む事。失敗も肥やしにすればいいと思います。

その一言は、本当に自分で考えた上で、誰かの役に立つであろう言葉なのか?

表現は泥臭くても、親身な想いを言葉にすればそれは相手が感じてくれるはずです。

言葉を発する。文章を書くと言う事は、何よりも頭の中の整理をするのに役立つという大きなメリットがあります。

無限にある言葉の中から、毎月何を選ぼうか?プレッシャーとワクワク感が同居しています。

# 今月の言葉・・・2021年7月21日

### 今月の言葉を書き続けてきた理由

ヒロ薬品の社員数がまだ 20 名にもいかない頃、一筆箋に一人一人の顔を思い浮かべながらひと月の間に交わした話や仕事で印象に残った事を書き連ねていたのが事の発症です。給与明細をお渡しする前日に外の仕事で遅くなる時には、出先で宿題をする様な場面も何度もありました。普段あまり話が出来ない方とのコミュニケーションの方法のひとつでした。有難い事に、事業所が一つ二つと増えるごとに社員数も増え、また登録ヘルパーさんにも会社の理念や大切にして頂きたい事を共有するには手書きでは間に合わなくなった事、ある企業様へ訪問させて頂いた際に、毎月社長さんから社員さんに宛てたメッセージが壁に貼られている事を知って『そうだ!私は直接お渡ししよう!!』と言う事を名古屋で決めたのでした。

そして勝手に給与明細に入れ始めたのですが、ある時お渡しした明細を直ぐに開封 し、私の文章を読み始めた方を目の当たりにした時、また社員面談の際に、『社長のお 手紙を読んで、もう一度本を読みかえして勉強しています』と話して下さった方がい ましたがとても嬉しかったです。

時は流れ、紙からデータの時代になりました。ヒロ薬品でもいよいよ給与明細や源泉 徴収票をデータで確認していただく事となりました。

よって、皆さんの給与明細の袋に勝手に入れているメッセージはこの形では一応終了という事になります。人様に読んで頂く、思いを文字に変える作業を継続的に行う為には下調べを始め、そこにわたくしの意思を乗せる事が必須ですので、まずは自分自身がピンとくる言葉に出会う必要がありました。その意味では色々なジャンルの本を読んだり、メルマガの文章をコピペしたり勉強会や講演会で印象に残った言葉や例え話をノートにメモしたりと、日頃からの情報収集は自分自身にとっても大変有意義なものでした。皆さんに一通ずつお渡しするのはこれが最後ですが、発信は別の形で続けていくつもりです。それは HP かも知れませんし、『あっとほ~む☆たいむす』での連載になるかも知れません。

とにかく、ヒロ薬品のあるべき姿、社員一人ひとりの皆さんが文章の端っこだけでも読んで、何かを考えるきっかけが出来たり、やってみようかな?と行動の変化を起して下されば本望です。

昨年から続く新型コロナの感染拡大によって、コミュニケーションの取り方、人との 距離感の保ち方など、そもそもの価値観が問われていると思います。何が大事なこと なのかを今一度考えて良かれと思う方法で皆さんとの交流を大切にしていきたいと思 っています。長きにわたり、読んで下さり有難うございました。感謝♥♡

古谷良子